

**日本海洋政策学会「学生小論文」募集**

**日本海洋政策学会**

当学会では、高専生（４，５年次）、学生、院生を対象とした『学生小論文』の募集を下記要領にて実施しております。

受賞論文は、本学会のホームページならびにニューズレター等で全文を紹介します。また、受賞者は表彰式を行う年次大会への招待とともに、入会にあたり1年間の会費を免除いたします。さらに、受賞者は経歴書に記載できるため、キャリアアップの際に有用とも考えられますので、ふるって応募ください。

**記**

**■応募資格：**日本国内の大学生・大学院生（高専生４，５年生含む）

国籍・性別・年令は問いません。文系・理系を問いません。

**■募集テーマ：「海洋問題解決への提案」**

日本が直面している海洋問題解決についての具体的・建設的な提案を募ります。海洋基本法、第4期海洋基本計画が実施をめざす施策及び「国連の持続可能な開発目標（ＳＤＧs）」目標14に関する提案を歓迎します。

＜参考＞

第4期海洋基本計画が実施をめざす施策

①海洋の安全保障②海洋状況把握（MDA）の能力強化③離島の保全等及び排他的経済水域等の開発等の推進④海洋環境の保全・再生・維持⑤海洋の産業利用の促進⑥海洋調査及び海洋科学技術に関する研究開発の推進等⑦北極政策の推進⑧国際的な連携の確保及び国際協力の推進⑨海洋人材の育成と国民の理解の増進

**「持続可能な開発目標：SDGs （Sustainable Development Goals）」**

<http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/>　参照

**■応募要領**

①応募者単名による自らの考察・分析に基づいた未発表原稿に限ります。

②Ａ４用紙に横書きとし、フォントは明朝体10.5ptを原則使用。

③使用言語は日本語又は英語とし、日本語原稿の場合は2,400～3,000字、英語原稿の場合は1,200～1,500ワード。

④図表・写真を付ける場合は計２点まで。引用した文章・図表には必ず出典を付記してください。

⑤提出論文は、表紙を付け、その上段にタイトルを明記の上、下段に住所（都道府県名から）、氏名（漢字にはふりがな）、年令、性別、学校名、所属学部又は専攻、連絡先の電話番号・メールアドレスを記載の上、2ページ目から本文としてください。本文1ページの字数・行数は適宜、設定してください。

**⑥注意事項**

**生成系AIツール等で生成された文章等を用いることは認めません。**

**その内容には間違いやバイアスが含まれることがあり、また、著作権等の法的リス**

**ク問題も存在します。信頼に足る根拠をもとに論理を自ら構築し文章を吟味するこ**

**とこそが研究能力を高めるうえで必須であり、また、本小論文コンテストの狙いで**

**もあります。**

**■論文提出先**

電子メールに添付し office@oceanpolicy.jp あてに送付してください。

件名欄に、「学生小論文」投稿、と記載下さい。

■審査方法

応募論文は、日本海洋政策学会の審査委員会が審査します。

■締切り

９月３０日（火）　17：00　事務局必着

　　　WORD原稿をメールで送付下さい。

■審査結果発表

１０月３１日予定　（応募数が多い場合等は１１月中）

■表彰式

　１２月開催の年次大会にて表彰を行います。

表彰式への参加旅費を支給します（但し、上限50,000円）

■賞品等

最優秀賞　１編　　表彰状及び賞品（図書カード20,000円）

優秀賞　　２編　　表彰状及び賞品（図書カード 10,000円）

奨励賞　　数編　　表彰状及び賞品（図書カード 5,000円）

※別途、入会金及び１年間年会費無料（計4,000円）として会員となることができます。また、表彰式を行う年次大会へ招待します（上記「表彰式」欄参照）

※受賞論文は、本学会のニューズレター等で全文を紹介、掲載します。

【個人情報について】

個人情報については、選考・発表にかかわる事項以外には使用しません。

**〔本件に関する問い合わせ等、連絡先〕**

日本海洋政策学会事務局

〒105-0001　港区虎ノ門1-15-16　笹川平和財団ビル８F

TEL/FAX　03-6457-9701、

e-mailアドレス：office@oceanpolicy.jp

Website: https://oceanpolicy.jp